



米原市：農山村の脱炭素化と地域活性 ～米原市「ECO VILLAGE構想」～

脱炭素先行地域の対象：米原駅周辺民生施設群、市内耕作放棄地群

主なエネルギー需要家：米原市庁舎1棟、滋賀県東北部工業技術センター3棟、ヤンマーホールディングス株式会社中央研究所7棟、民間施設2棟程度

共同提案者：滋賀県、ヤンマーホールディングス株式会社

取組の全体像

米原駅周辺の米原市・滋賀県の公共施設とヤンマーホールディングス株式会社の施設に太陽光発電設備を導入するとともに、市内の耕作放棄地に太陽光発電設備(ソーラーシェアリング)を設置し、系統を通じて対象となる施設の民生部門の脱炭素化を図る。また、当該耕作放棄地において、ソーラーシェアリングとともに、AI・IoT等を実装し、再エネを地産地消する環境配慮型栽培ハウスを導入する。

1. 民生部門の脱炭素化に関する主な取組

- ① 米原市庁舎・滋賀県東北部工業技術センター・ヤンマー中央研究所については、駐車場や屋根に360kWの太陽光発電設備を設置し、**自営線**により電力を供給
- ② 市有地については、合計で5,300kWの太陽光発電設備(野立て)を設置するとともに、大型蓄電池を設置して、**系統**を通じて①の公共施設等に電力を供給
- ③ 市内の**耕作放棄地**に合計1,600kWの太陽光発電設備(営農型)を設置するとともに、大型蓄電設備を設置し、**系統**を通じて①の公共施設等に電力を供給

2. 民生部門以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① ECO VILLAGE構想(市内耕作放棄地において、**ソーラーシェアリング**を実施するとともに、**環境配慮型栽培ハウス**(空調等に省CO2設備導入・リユース単管パイプ使用・有機栽培農福連携)の導入)
- ② 米原駅周辺とECO VILLAGEの間で、EV車両を活用した**貨客混載MaaS事業**の導入



3. 取組により期待される主な効果

- ① **AI・IoT等の先進技術を実装した環境配慮型園芸施設**が導入され、地域製品の生産を通して、農福連携を推進し、女性や若者が働く場が新たに創出。また、耕作放棄地を活用した再エネ設備導入モデルを市民に示すことにより、市域内における**営農型太陽光発電の普及促進**
- ② 先行地域内に再エネ電源を確保し、**レジリエンスを強化**

4. 主な取組のスケジュール

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027～29年度	2030年度
米原駅周辺民生施設群						
<ul style="list-style-type: none"> ・公用車駐車場への太陽光発電設備設置 ・ヤンマー敷地内への太陽光発電設備設置 ・ヤンマー敷地内への大型蓄電池設置 						
<ul style="list-style-type: none"> 市有地への太陽光発電設備設置 						
<ul style="list-style-type: none"> 滋賀県東北部工業技術センターの整備(新設) 						
<ul style="list-style-type: none"> 滋賀県東北部工業技術センターへの太陽光発電設備の設置 						
市内耕作放棄地群						
<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地における太陽光発電設備・大型蓄電池設置、耕作放棄地への省CO2等設備の導入 						